

特定非営利活動法人
日本歯科放射線学会

第 228 回関東地方会
学術講演プログラム

会 期 2019 年 1 月 26 日（土）
開催世話人 金田 隆 日本大学松戸歯学部放射線学講座
会 場 日本大学松戸歯学部 2 階 MD ホール

プログラム

世話人会(12:00～12:50)

会場：2F 第一会議室

開会の挨拶 (13:00～13:05)

開催世話人：金田 隆 (日大松戸)

Session 1 (13:05～13:55)

座長：田口 明 (松本歯科大)

1. 高吸収体CT画像の適正Window設定に関する検討
○泉 雅浩、川股亮太、印南 永、谷口紀江、香西雄介、櫻井 孝
神奈川歯科大学 顎顔面病態診断治療学講座
2. ヒト乾燥骨を用いたX線CTの診断精度に対する散乱線の影響に関する研究
○市古敬史1、窪谷保則1、若江五月1、杉崎正志1、大蔵眞太郎1、下田信治2、小林 馨1
1 鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座、2 鶴見大学歯学部口腔解剖学講座
3. 歯科用コーンビームCTを用いたデジタル合成画像の評価－第1報
研究用模型との3D合成画像
○黒田 沙、荒木和之
昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門
4. 診断に苦慮した下顎骨病変の1例
○一木俊吾1、川島雄介1、末光正昌2、平原尚久1、原 慶宜1、徳永悟士1、
久山佳代2、金田 隆1
1 日本大学松戸歯学部放射線学講座、2 日本大学松戸歯学部口腔病理学講座

- 休憩 (13:55～14:05) -

特別講演(14:05～15:05)

座長：金田 隆 (日大松戸)

口腔癌の画像診断 – 臨床において重要な画像所見 –

尾尻博也 教授

東京慈恵会医科大学放射線医学講座

- 休憩 (15:05～15:15) -

プログラム

Session 2 (15:15~16:05)

座長：後藤多津子 (東京歯科大)

5. SPECT/CTによる薬剤関連顎骨壊死の画像解析
○小椋一朗1、佐々木善彦2、諏江美樹子2、織田隆昭2、亀田綾子1、羽山和秀1
1 日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科放射線学講座、2 日本歯科大学新潟病院 放射線科

6. ヒト歯根象牙質の安定同位体を用いた生存年代の推定
○永峰 史1、松永 智2、笠原典夫1、橋本正次1
1 東京歯科大学法歯学・法人類学講座、2東京歯科大学解剖学講座

7. DC/TMDにおける変形性顎関節症の画像所見について
○野澤道仁1、小木信美2、有地淑子1、中山美和1、木瀬祥貴1、内藤宗孝1、
西山雅子1、栗田賢一2、有地榮一郎1
1 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座、2 愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座

8. パノラマおよび4分割撮影にて関節円板の石灰化を疑った症例
○西山秀昌、新國 農、林 孝文
新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

- 休憩 (16:05~16:15) -

Session 3 (16:15~17:01)

座長：小椋一朗 (日歯大新潟)

9. 硬組織形成を認めた顎骨腫瘍の2例
○栗林亜実1、坂本潤一郎1、富里 博2、栢森 高3、原田浩之4、倉林 亨1
1 東京医科歯科大学大学院口腔放射線医学分野、
2 東京医科歯科大学歯学部附属病院総合診療科歯科放射線外来、
3 東京医科歯科大学大学院口腔病理学分野、4 東京医科歯科大学大学院顎口腔外科学分野

10. 硬口蓋に発生した血管平滑筋種の1例
○岩田 洋1、齋藤圭輔1、林 宗廣1、辺見卓男1、柳下寿郎1、北詰栄里2、石垣 佳希2、荘司洋文2
1 日本歯科大学附属病院 歯科放射線・口腔病理診断科、2 日本歯科大学附属病院 口腔外科

11. エックス線画像検査で骨髓炎の所見を認めなかった症例
林 悠介、伊藤源大、渡邊憲一郎、江島堅一郎、荒木正夫、新井嘉則、本田和也
日本大学歯学部歯科放射線学講座

プログラム

12. 石灰化上皮性歯原性腫瘍の1例：CT・MR所見を中心に

○板倉 剛1、川島雄介1、平原尚久1、徳永悟士1、原 慶宜1、末光正昌2、久山佳代2、
金田 隆1

1 日本大学松戸歯学部放射線学講座、2 日本大学松戸歯学部口腔病理学講座

- 地方会総会 (17:01～17:15) -

閉会の挨拶 (17:15～17:20)

開催世話人：金田 隆 (日大松戸)

懇親会(17:30～19:30)

会場：2F 第一会議室

ご発表の先生方へ

【発表方法】

- 口演時間は発表9分、質疑応答4分の計13分です。尚、一例報告の口演の場合は、発表8分、質疑応答3分の計11分となります。
- 発表はPCプロジェクター（単写）、PCはWindows 10、PowerPoint（2016）となります。PowerPoint形式（.pptあるいは.pptx）での提出をお願いします。
- 発表データはUSBでお持ちください。USBは予めウイルスチェックを行ってからお持ちください。
- 音声出力はご遠慮ください。

【事後抄録】

- 事後抄録は演題名・演者名および所属を含め、Word形式（.docあるいは.docx）にて400字程度での作成をお願いします。
- 事後抄録は当日受け取りとさせていただきます。受付時にご提出をお願いします。
- 提出はUSBにて承ります。

口腔癌の画像診断

－臨床において重要な画像所見－

尾尻博也

東京慈恵会医科大学放射線医学講座 教授



一般に、画像診断は存在診断、質的診断、病期診断と3つに分けて論じられるが、口腔癌を含む頭頸部癌症例では、存在診断、質的診断は理学的所見や病理診断に依存するところが多い。本講演では治療前におけるTおよびN病期診断に沿った画像診断、これに続いて治療後画像評価について症例の画像提示を中心に概説する。

AJCC Cancer Staging Manual 第8版での口腔癌病期診断での重要な変更点として、深達度 (DOI; depth of invasion) の導入が挙げられる。これはDOIが(口腔癌において最も重要な予後因子となる) 頸部リンパ節転移と相関を示すこと、第7版までT4aの要素とされていた外舌筋浸潤の病理学的判定が容易でないことなどから、これに代わるかたちで組み入れられた。ただし、どのようなモダリティでどのようにDOIを計測するかは示されておらず、実際の臨床の場における多少の混乱、病期診断の不安定性が生じている。本公演では画像におけるDOI診断の実際について問題点とともに概説する。その他に顎骨浸潤、神経周囲進展を取り上げる。顎骨浸潤はT4aに区分され、一般には骨条件表示CTでの評価が優れるがCTでは不十分な場合もありMRIの有用性を示す。口腔領域での神経周囲進展はV2/3病変の評価が望まれる。神経の走行に一致した組織層消失、腫瘍形成、通過する孔の拡大などとして認められる。最も重要な予後因子である頸部リンパ節転移の画像診断について標準的な診断基準と合わせて概説する。最後に、治療後の画像評価について述べる。再発、転移を評価するためには、基線検査と比較を前提として、各術式、術後の標準的な画像変化についての理解、再発様式に対する知識と経験が必要となる。顎骨では切除縁、皮弁による再建例では皮弁辺縁などの詳細な評価が求められる。なお、日常の臨床における実践的内容となることを講演の目的とする。

1989年（平成元年）3月	東京慈恵会医科大学医学部卒業
1989年～1991年	東京慈恵会医科大学附属病院にて研修
1991年4月	東京慈恵会医科大学放射線医学講座助手
1999年5月～2001年4月	米国フロリダ大学放射線科神経放射線部に research fellow として留学, Dr. Mancuso のも と頭頸部画像診断を学ぶ
2003年5月	東京慈恵会医科大学放射線医学講座 講師
2007年7月	同 准教授
2012年4月	東京歯科大学放射線科 准教授
2013年10月	東京慈恵会医科大学放射線医学講座 准教授・東 京歯科大学放射線科非常勤講師
2017（平成29年）年4月～現在	東京慈恵会医科大学放射線医学講座担当教授、 東京歯科大学放射線科 客員教授

専門分野

頭頸部画像診断

頭頸部癌学会 代議員・診療ガイドライン委員

日本医学放射線学会 代議員・教育委員・画像診断ガイドライン委員

頭頸部放射線研究会 幹事

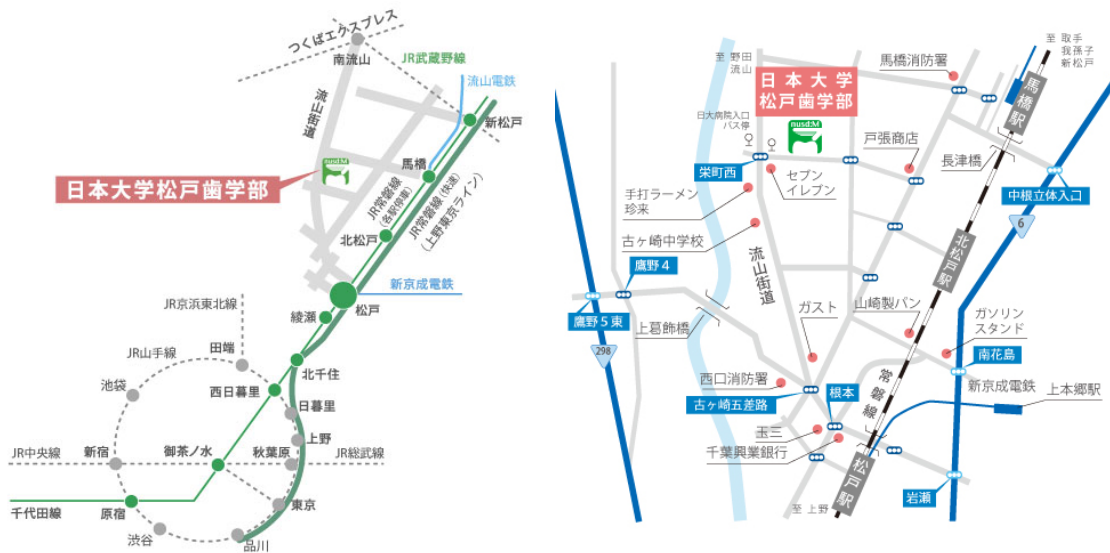
頭頸部・胸部画像研究会 代表世話人

日本画像医学会 評議員

断層映像研究会 世話人

※参加費：3000円 懇親会費：4000円（当日会場にてお支払い下さい。）

<会場までのアクセス>



<交通：松戸駅から日本大学松戸歯学部>

JR 常磐線(東京メトロ千代田線直通)・新京成電鉄
松戸駅下車後西口へ バスあるいはタクシーにて

【バス】

①西口2番バス乗り場（京成バス）
※ [松81] 「日大歯科病院（古ヶ崎経由）」行きバス終点（約20分）
※ [松82] 「日大歯科病院（流山街道経由）」行きバス終点（約15分）

②西口3番バス乗り場（京成バス）
※ [松73] 「（日大歯科病院経由）江戸川台駅または南流山駅」行き「日大歯科病院」下車（約20分）
※ [松71]・[松72]・[松74]
「（古ヶ崎・南流山駅経由）江戸川台駅または南流山駅」行き「日大病院入口」下車（約15分）、徒歩約5分

【タクシー】

松戸駅から（約10分）1,400円前後

<連絡先>

日本大学松戸歯学部放射線学講座
住所：千葉県松戸市栄町西 2-870-1
Tel：047-360-9416
Fax：047-360-9418